

(別紙1) 万博会場内における催事スペースでの催事計画書

事業コンセプト

はじまりの地 奈良から紡ぐ未来のカタチ

奈良県は、「国のはじまり」の地として歴史文化遺産を含む豊かな自然や文化が現在まで継承されている。

奈良県で1300年以上にわたり積み重ね、継承されてきた伝統行事にフォーカスをあて、それを支えてきた芸能や工芸等とともにストーリー化し、大阪・関西万博がめざすものとして掲げている「持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献」に向けた奈良県からのメッセージとして発信。

また、万博会場での催事開催に加えて、県内でも関連した催事を開催することで、より万博との連携、県内への観光誘客、経済効果の波及を目指す。

さらに、実施事業を万博開催後もレガシーとして活用できるものとすることで、文化・産業の次世代への継承や経済発展に繋げる。

計画策定に係る条件等

契約時に確定していた条件に加え、奈良県と博覧会協会や関西広域連合との協議や県庁内関係部局との調整で決定・判明した内容等も加味して事業計画を策定

万博会場での催事開催

- ・万博会場内における催事スペースでの催事案 EXPOアリーナ（3日間）※会場使用は5日間
➢奈良の文化・伝統芸能展示イベント案/体験型イベント案
- ・万博会場内における催事スペースでの催事案 関西パビリオン 多目的エリア（2週間）
➢市町村等PRエリア/奈良県 観光・歴史文化エリア/
共創チャレンジ オープンファクトリー 展示エリア/万博BENTO販売エリア
- ・シグネチャーパビリオン「いのちのあかし」NARActive撮影地協議会 連携イベント
- ・シグネチャーパビリオン「いのちのあかし」「森の集会所」を活用した奈良県PRイベント

万博開催期間に県内で実施する催事案

- ・歴史・文化等観光素材と連携したクラフトフェアの開催
- ・周遊観光の新たな素材となる地域一体型オープンファクトリーの創出
- ・EXPOウォレットを活用した奈良県内周遊イベントの開催
- ・その他の取組

県内における機運醸成を目的とした広報活動案

- ・機運醸成イベントの開催
- ・メディア・パブリシティ連携による広報
- ・旅行事業者・公共交通機関とのタイアップ
- ・その他の取組の提案

(1) 万博会場内における催事スペースでの催事案

EXPOアリーナ 〈実施期間：2025年5/26(月)-5/30(金)〉

万博会場西側入場口近くの屋外大催事場という環境と1万人規模の収容をメリットに奈良の魅力をも最大限にアプローチできる場として伝統芸能をはじめ独自の催事を実現。また、入口近くといった立地を活かし多くの老若男女来場者の集客を期待。

想定催事演目	大型ライブ、映像上映、野外フェス、祭り催事
収容人数	1万人規模（客席なし/観覧エリアの床面は人工芝）
舞台形式	屋根付き野外ステージ（間口約18m、間口高さ約10m、奥行き10.8m）
設備	音響・照明・大型LED映像装備・昇降式吊りバトン・ディレイタワー
付帯設備	VIP室、楽屋、物販棟等
観覧・施設内	館内エリアでの飲食可、施設内での商業活動可



奈良の文化・伝統芸能展示イベント案

メインステージ・センターステージ周辺では「国の始まり」奈良で脈々と受け継がれてきた催事や伝統芸能を軸に、新たに生まれた奈良独自のイベントを会場で展示。県内の大学等での文化振興やSDGsに関連した取組もステージで発表。

実施催事（案）

- ・奈良の伝統的な「祭」を通して、奈良県内無形民俗文化財を紹介
- ・県内学生・団体等によるステージ
- ・奈良県にゆかりのある有名キャラクターとコラボすることにより奈良の魅力を紹介
- ・伝統芸能と最新技術により奈良の夜を表現

◆展示催事（例）



◆春日若宮おん祭



◆十津川村大踊り



◆能・狂言×最新技術による表現



◆なら燈花会

体験型イベント案

奈良県内で脈々と受け継がれてきた食文化や伝統工芸等を体験出来るブースを設置。ワークショップ等や生産者との対話を通じて、その価値を来場者に訴求。

◆展示催事（例）

●奈良の食を味わうブース

飲食



販売



PR



●奈良産品クラフトフェア・ワークショップ

販売



体験



●奈良の木の茶室で大和茶のおもてなし

体験



(1) 万博会場内における催事スペースでの催事案

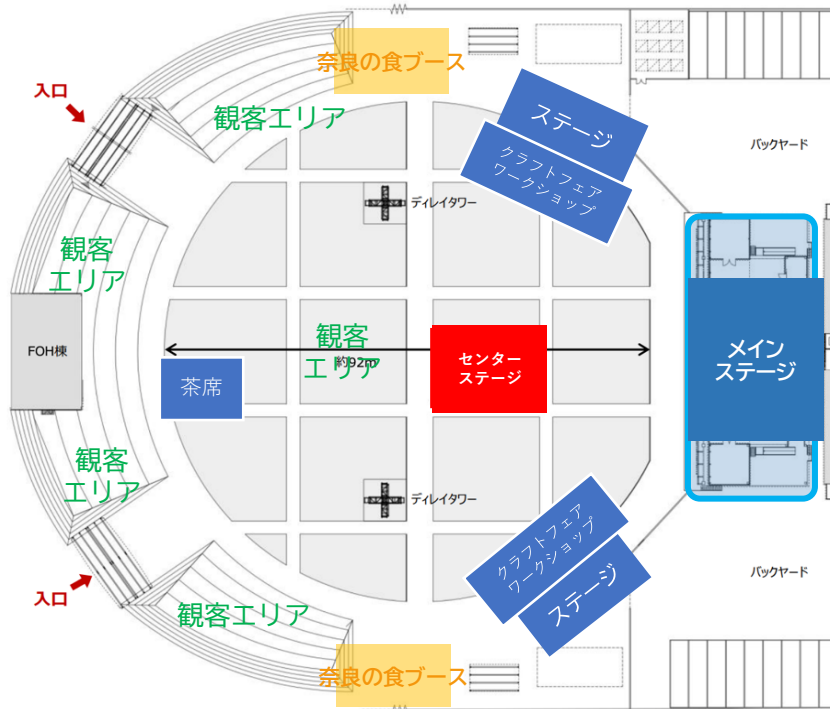
EXPOアリーナ

会場レイアウト (案)

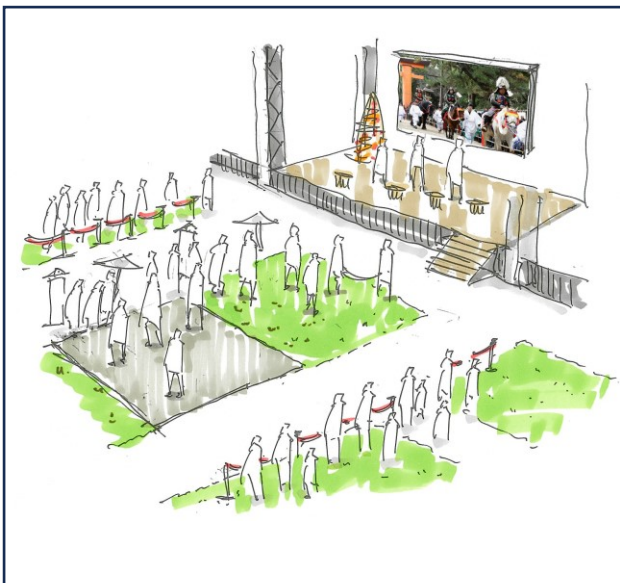
常設の大ステージに加え、センターステージを設置することで伝統芸能等を360度観覧可能な空間を演出。

加えて、サイドに小ステージを設置することで「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジ参加団体や伝統技術の継承を目指す団体等のPRの場を創出。

〈会場レイアウト 図案〉



〈催事イメージ〉



(1) 万博会場内における催事スペースでの催事案

関西パビリオン 多目的エリア 〈実施期間：2025年4/14(月)～4/27(日)〉 予定

多目的エリアは半屋内でもありメインストリート（リング）や大阪パビリオンからの来訪者に奈良の魅力をダイレクトに感じていただくことができる立地でもあり、奈良全体の催事を最大限にアピールする。

想定催事演目	祭り、音楽ステージ、試飲・試食、物販、産業展示等
収容人数	約50人
延床面積	130㎡
仕様1	催事や展示を行う、期間限定で楽しめる空間
仕様2	半屋内として、来場者が関西の魅力をダイレクト感じるスペース
施設内	施設内では物販・試飲試食可



市町村等PRエリア

雨天時にも展示が可能で、凝縮感のある催事スペースを利用し、参加市町村ごとの個別ブースを設置し、それぞれの個性を活かした展示・物販等を展開。併せて、奈良県発祥の日本酒PRブースや県産品の物販・ワークショップブース等を設置し、観光・産業・歴史文化を発信。

◆展示催事(例)



奈良県 観光・歴史文化エリア

奈良県内の周遊観光情報や観光アプリの情報発信スペースを設置。加えて、なら歴史芸術文化村の国宝レプリカを一部展示し、「インクルーシブな文化財」展として、直接触れられたり、軟骨電動イヤホン等を使用することで、視覚障害や難聴の方などにも、文化財を体感いただけるイベントを開催。

◆展示催事(例)



共創チャレンジ オープンファクトリー 展示エリア

万博の共創チャレンジに登録された県内団体のこれまでの取組や課題、これから目指すものなどを展示。地域が一体となって開催を目指す「地域一体型オープンファクトリー」の魅力を発信し、万博期間中やそれ以降の誘客を促進。



万博BENTO販売エリア

県内の学生・企業が県産食材を使用したBENTOを企画・制作し、販売するブースを設置。担い手育成及び地元への愛着育成を行いながら、新しい商流を生み出し、県内企業の活性化を促す。万博期間後も県内イベントや旅行会社とのガストロノミーツーリズムでの販売につなげる。

(1) 万博会場内における催事スペースでの催事案

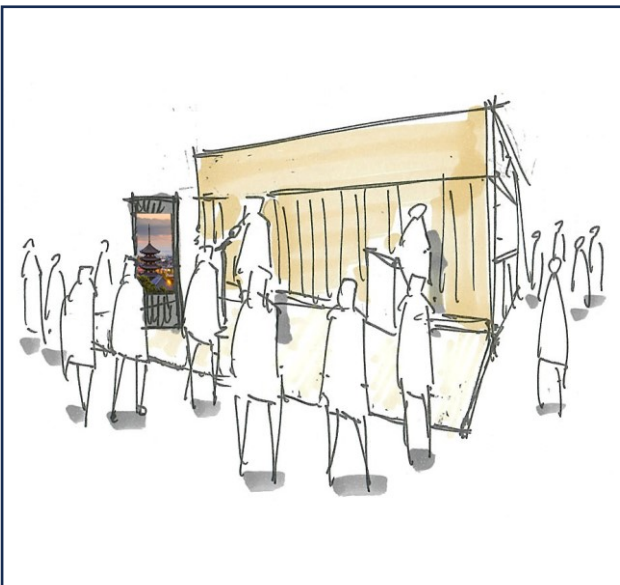
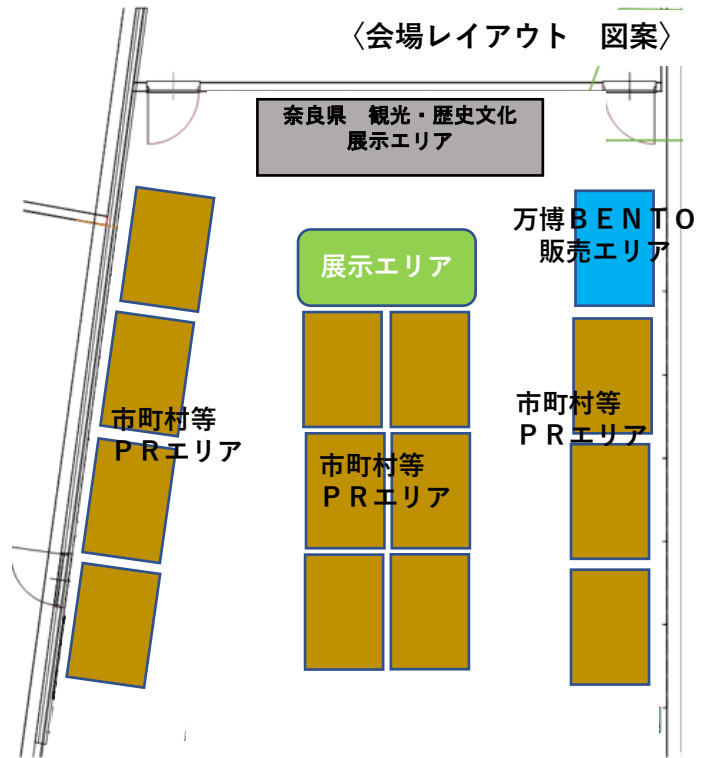
関西パビリオン 多目的エリア

会場レイアウト (案)

市町村ブースやワークショップでU字に来場者導線を形成することで、両サイドから効率的に情報を発信、混雑時には一方通行化にも対応。会場奥に「たまり」を作り、滞在時間の延長を図りながら、緊急時には両側導線から安全に避難誘導可能なレイアウトとする。



〈催事イメージ〉



(1) 万博会場内における催事スペースでの催事案

シグネチャーパビリオン いのちのあかし館

NARActive撮影地協議会 連携イベント

「NARActive@EXPO2025」

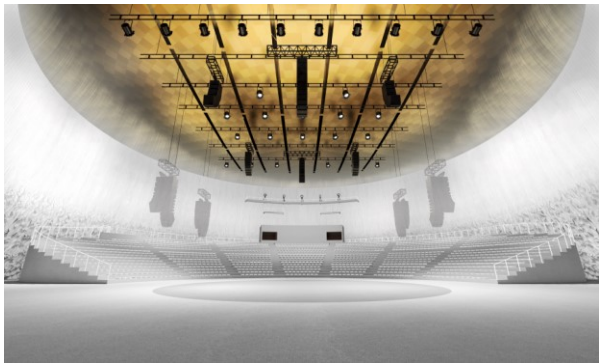
- 万博会場内のEXPOホールで、これまで県内で撮影された河瀬監督プロデュースによる「NARActive」映画作品をダイジェスト上映。
オープニングには河瀬監督や作品制作に関わった国内外の若手監督や地元関係者等とのトークセッションを実施。
映画を通して奈良県の撮影地の魅力を発信し、フィルムツーリズムによる誘客を促進。

実施主体：博覧会協会
参加団体：奈良県、奈良市他9市町村
実施期間：2025年6月頃、3日間（設置撤去含）の事業を予定。

- シグネチャーパビリオン「いのちのあかし」内のシアターでNARActive」映画作品を上映。
県内撮影地の魅力を余すことなく発信。

実施主体：博覧会協会
参加団体：奈良県、奈良市他9市町村
実施期間：2025年6月頃 9作品を1週間程度ローテーション上映

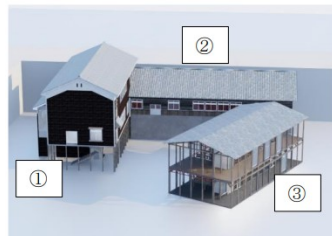
EXPOホール（旧名称 大催事場）



座席数：約2,000席（車いす席含む） 階数：2階建
床面積：8,419.7㎡

シグネチャーパビリオン「いのちのあかし」

「いのちのあかし」全体イメージ

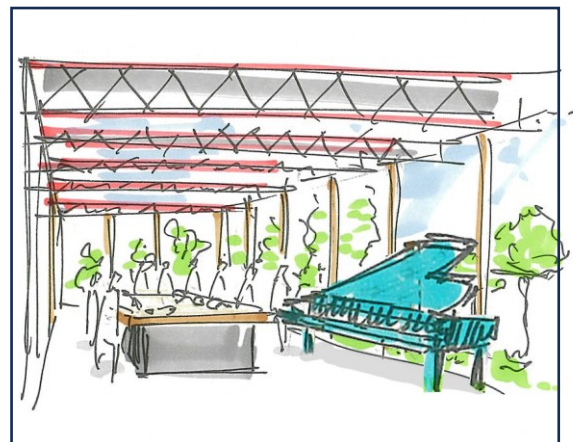


- ① エントランス 奈良県十津川村立折立中学校（南棟）
- ② 対話シアター 京都府福知山市立細見小学校中出分校
- ③ 森の集会所 奈良県十津川村立折立中学校（北棟）

「森の集会所」を活用した奈良県PRイベント

シグネチャーパビリオン「いのちのあかし」内の多目的スペース「森の集会所」にて県内市町村のPRを実施。実行委員会参加市町村が、個別ブースを設置し、それぞれの個性を活かした展示・物販等を展開。（市町村各4日間の出展を想定）また、1970年大阪万博会場で実際に使用され、現在は宇陀高校が所蔵する「万博ピアノ」を展示、ストリートピアノとして実際に来場者が触れて、万博のレガシーを体感するイベントを実施。

実施主体：大阪・関西万博奈良県実行委員会
参加団体：実行委員会参加団体
実施期間：2025年9月頃 2週間程度を調整中。



「いのちのあかし」森の集会所イメージ

万博ピアノ

(2) 万博開催期間に県内で実施する催事案

大阪・関西万博を単なる一過性のイベントではなく、奈良県の観光・産業が抱える課題を解決していくための推進剤（きっかけ）として、事業を展開。

クラフトフェアや地域一体型オープンファクトリーの展開により、若い人材へのモノづくりの魅力発信や地域の新たな観光コンテンツ造成につなげる。

万博開催期間中の関西への誘客を県内に呼び込むため、歴史・文化資源に産業を加えた県内周遊を提案する取組を進める。

歴史・文化等観光素材と連携したクラフトフェアの開催

- 奈良で長い歴史を持つ伝統工芸品や高い技術を誇る工業製品、木製品、農産加工品を一同に集めたクラフトフェアを開催。
- 奈良観光の定番となっている歴史・文化に加え、優れた県内製品をより磨き上げ、積極的にPRすることで地域経済の活性化を推進。
- 併せて、県内の農産物を使った食の提供、生産者や料理人との食や食材を通じた交流、各市町村の旬の農産物や特産品のマルシェ、県内学生と県内企業が連携したBENTOの販売PRを実施。



クラフトフェア開催 イメージ

周遊観光の新たな素材となる地域一体型オープンファクトリーの創出

- クラフトフェア等の出展で発掘、磨き上げられた製品や加工農産物・食品を製造する工場・工房・食材や素材の生産現場を間近で見学・体験できるオープンファクトリー実施事業者を開拓。
- 素材選定や製造工程、生産工夫を事業者自らPRすることで、その付加価値の高さを知っていただくとともに、SNS等での旅行者個人の発信力の高さを最大限活用した拡散的な情報発信を推進。
- 併せて、普段見ることができない仕事の魅力を発信し、人材の確保・育成のきっかけを創出。

EXPOウォレットを活用した奈良県内周遊イベントの開催

- 博覧会協会が開発した「EXPOウォレット」機能を活用し、万博会場と県内をつなげる周遊イベントを開催。
- 万博会場や県内での支払い等にEXPOウォレットを使用した際の特典付与や、県内の観光地を巡った際に獲得できる期間限定のNFTスタンプラリー等を実施。



その他の取組

- 県内社寺・博物館等との連携
万博開催期間中に合わせて実施される県内社寺での特別開扉や博物館等での展覧会等とタイアップし、滞在周遊型観光を促進。
- なら歴史芸術文化村での連携事業
万博のテーマに連動した体験型展示および関連のシンポジウムやワークショップを開催。
文化観光や産業観光のゲートウェイ拠点機能として活用。

